

関係者各位

「赤外線アクティブ非破壊検査システムの開発」

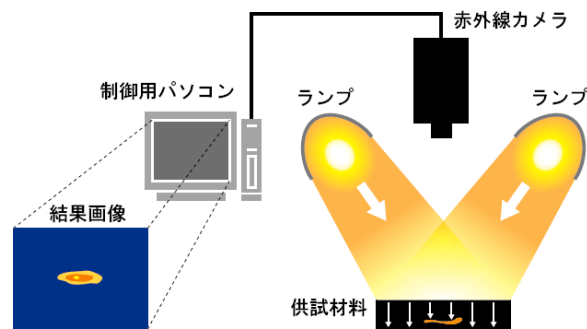
JAXA 宇宙オープンラボのテーマに選定

日本クラウトクレマー（本社：東京都豊島区西池袋 5-13-13 代表取締役：小林洋治）が提案した「赤外線アクティブ非破壊検査システムの開発」が宇宙航空研究開発機構（JAXA）の平成 23 年度第 1 回「宇宙オープンラボ」の研究テーマとして選定されました。

宇宙オープンラボは JAXA と産業界、大学、公的研究機関等がアイデア、技術、ノウハウを持ち寄り、新たな発想による事業の創出を目指すための制度です。

複合材料（特に CFRP：炭素繊維強化複合材料）は、航空機、人工衛星・宇宙機器の構造体の主要材料として多く使用されています。それら複合材料の製造段階の検査において、航空機では超音波検査が主に適用されていますが、宇宙機器では水や油が接触することを嫌うため超音波検査が適用できず、タッピング、外観検査等を実施するのみでありました。

日本クラウトクレマーではすでに接触せずに、対象物の片側から大面積を短時間で検査でき、現場での検査が容易な赤外線サーモグラフィ非破壊検査装置を開発しておりますが、本研究ではこの手法を更に改善して、人工衛星・宇宙機器の構造体や、航空機の運用中の保守検査はもちろん、自動車など量産品の非破壊検査にも適用できる赤外線サーモグラフィによるアクティブ非破壊検査システムを開発いたします。



システム概要図

お問い合わせ先：

日本クラウトクレマー株式会社

業務部 陣内

TEL 03-3987-8711 FAX 03-3987-8716

E-mail sjinnai@krautkramer.co.jp